

コマ:1

事業名:道路事業（直轄・修繕等）

外部有識者の主なコメント

- 国民の生命財産の安全確保という観点から極めて重要な事業であり、継続的で着実な実施を期待する。
- ライフサイクルコストについて、より精度が高められるように随時見直すべき。
- ライフサイクルコストの抑制効果については、技術進化の影響を含め、実際の効果については継続的に確認される必要がある。
- 政策効果を検証するため、実際のコストの推移を分析し、説明責任を果たして欲しい。
- メンテナンスサイクルについては、適切な期間でサイクルを廻すよう適宜見直し、検討を行い、今後活かしていくべき。
- 修繕費用に関するアウトカムを導入する必要がある。
- 財政難は理解しているが新しい橋を作るタイミングを逸することがないか少し心配。
- 一者入札の状況については、引き続き改善に向けた取組が必要。

とりまとめ結果

事業内容の一部改善

<とりまとめコメント>

- ・ 国民の生命財産の安全確保という観点から極めて重要な事業であり、継続的で着実な実施を期待する
- ・ 実際のコストの推移も見ながら修繕費用の将来推計を適切に行うよう努めるべき
- ・ 適切なメンテナンスサイクルについて適宜見直し、今後活かすべき
- ・ 点検実施のみならず、メンテナンスに係るアウトカム指標を設定し、進捗管理を適切に図るべき
- ・ 一者応札について、引き続き更なる改善を行い、競争性の確保に取り組むべき

（廃止 0 名／事業全体の抜本的な改善 0 名／事業内容の一部改善 5 名／現状通り 1 名）

コマ:2

事業名:鉄道施設総合安全対策事業(耐震補強)

外部有識者の主なコメント

- 災害対策・交通機能の維持という観点から非常に重要な事業であり、着実な実施が必要。
- 事業は非常に重要度が高いので、早期完了を目指す必要がある。
- 現時点で目標達成が困難な状況にあり、事業の進展を確保するための手段を考慮する必要がある。
- 関係者協議が難航する事例に対して、テナント立退き交渉のインセンティブを含めた解決に向けた取組を、国としてサポートするような施策を追加する必要がある。
- 事業の進行中に事業対象の拡大が検討されると成果検証が難しいため、事業の個別化を通じた検証体制の構築を図るべき。
- せん断先行破壊への対応に関する取組に対して優先的に資金を投入すべき。
- せん断と曲げは別事業として管理すべき。
- 「緊急輸送道路と交差・並走する高架橋等」についても、目標を設定して進捗管理すべき。
- 残りの駅、高架橋について、個別のアクションプランを作成して進捗管理すべき。

とりまとめ結果

事業内容の一部改善

<とりまとめコメント>

- ・ 災害対策・交通機能の維持という観点から非常に重要な事業であり、着実な実施が必要。
 - ・ 現時点で目標達成が困難な状況にあり、テナント立退き交渉のインセンティブを含めた、事業の進展を確保するための手段を考慮する必要がある。
 - ・ 事業の進行中に事業対象の拡大が検討されると成果検証が難しいため、事業の個別化を通じた検証体制の構築を図るべき。
 - ・ 「緊急輸送道路と交差・並走する高架橋等」についても、目標を設定して進捗管理すべき。
 - ・ 残りの駅、高架橋について、個別のアクションプランを作成して進捗管理すべき。
- (廃止0名/事業全体の抜本的な改善1名/事業内容の一部改善5名/現状通り0名)

コマ:3

事業名:地理空間情報の活用の推進に係る総合的課題に関する検討

外部有識者の主なコメント

- 事業自体の必要性・先進性については十分認めることができる。
- 本事業は、エンドポイントを設定したスタートアップ支援として位置づける必要があるのではないか。
- 事業の実施期間、達成目標を明確化するとともに、それに対応したアウトカム指標の検討が必要。
- 今後の国の関与や民間移行のあり方を将来設計すべき。特に、利活用については、国の役割を明確にした上で、出口戦略も検討すべき。
- G空間情報センターは、多くの公共機関や民間企業が持つ地理空間情報を組み合わせ利用できるようにするための標準化や、国家安全保障に関わる情報や個人情報の保護に関する基準づくり等を担当すべき。
- 国のデータ（主なもの）を掲載するスケジュール感を示すべき。
- G空間情報センター及び同センターが収集した情報やデータについて国民にアピールするための施策が必要。
- 情報の悪用への対策についても検討が必要。

とりまとめ結果

事業内容の一部改善

<とりまとめコメント>

- ・ 事業自体の必要性・先進性については十分認めることができるが、事業の実施期間、達成目標を明確化するとともに、それに対応したアウトカム指標の検討が必要
- ・ 国と民間の役割分担についても検討すべき
- ・ データの登録に当たっては、優先順位やスケジュールを立てて行うことが必要
- ・ データの活用促進のためには、データの標準化等を検討すべき
- ・ 情報の悪用への対応策について検討が必要
- ・ G空間情報センターや同センターが収集した情報について国民にアピールするための施策が必要

(廃止 0 名 / 事業全体の抜本的な改善 2 名 / 事業内容の一部改善 3 名 / 現状通り 1 名)